

在学生・保証人様・卒業生および本学関係者の皆様へ

このたびは、本学についての報道があり在学生及び保証人様ならびに卒業生、本学関係者の皆様には多大なご心配をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

さて、このたびは本学の創立者である教育学博士・中島恒雄が総長・学長として復帰しましたことについてはホームページで過日お知らせいたしました。中島総長は過去に総長・学長を辞任した事案から10年以上が経過しており、法律に従って刑が無かったこととなり刑が消滅しております。これまで中島総長は自らの社会復帰のため猛省して更生し、謹慎期間中から現在も社会貢献にも努力しております。謹慎期間中にはよりよい教育ができるように研鑽してまいりましたので、今後は本学で学生のためになるより良い効果的な教育ができるように実践いたします。

また、その間に中島総長は自らが身体に障害を抱えることとなり、社会福祉に深く触れる立場となり、より良い人材を育成し、社会に送り出し、社会貢献していきたいという思いをたいへん深めました。弱者に対する慈しみと福祉の心を大切により良い教育環境を作りたいと願っております。教職員ひとりひとりからもより良い教育環境を作るための意見も取り入れる所存であります。

一方で大学運営は今般少子化による学生数の減少、新型コロナウイルス感染症への対応など過去に経験のない荒波にさらされています。本学においてもそうした厳しい経営環境の中で、本学創立者である中島総長は本学設立の初心に立ちかえり、建学の精神である「理論的・科学的能力と実践的能力を統合し、柔軟な思考力と問題発見・解決能力のある人材を育成する」のもと、文部科学省の主導するアクティブラーニングのもとである中島総長の著書『できなかつた子をできる子にするのが教育（ミネルヴァ書房）』を使命として、残る生涯をかけて本学の教育理念を確実に実践し、強力なリーダーシップを発揮して本学の立て直しを図る決意をもって復帰いたしました。

必ずや本学において教育の効果を上げ、社会福祉士や精神保健福祉士などの国家試験、公認心理師試験、臨床心理士等の資格試験、様々な公務員、公務員保育士や教員採用試験等でさらに多くの合格者が出せるよう、在校生に喜んでもらえるように教育実績をさらに上げて社会的信用を回復し、学生及び保証人様ならびに卒業生、本学関係者の皆様の期待に応えられるよう体制を整えて全学を挙げて取り組んで参りますので、今後の本学の教育体制の充実にご期待くださいますとともにご理解を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上